

柱	アクションプラン	具体策	平成19年度実施内容(PLAN)	進捗率 (H20.3末)	計画通りの 進捗か (. . ×)	現状及び今後の対応	17年度から19年度の総括 (実施できたこと)	担当課	関連課
3 事業評価	1 政策評価の実施に向けて	1 基本方針・実施計画の策定	行政評価制度実施計画書作成(～平成19年11月) 行政評価システムの導入検討(～平成19年12月)	90%		今年度で事務事業改善計画が終了するため、次年度以降は第3次総合計画や財政健全化計画に沿った事務事業の整理を行い、その事業の優先度の基準となる事務事業評価を行っていく必要がある。 総合計画の中で位置づけられてきた事務事業単位ごとに予算編成を前提とした「事業評価シート」を関連づけ、事業評価関連課(総務課・企画課・財務課)の連携を密にしたうえで「財政健全化計画」の見直しを含め、計画・財政の両面から検討ができるようにする。	行政評価制度の基本設計(「成果志向への行政経営の転換」と題したレポートを作成)(H18年度)県主催「行政経営情報交換会・行政評価部会」に参加。	総務課	-
	2 事業評価制度と事務事業改善計画との相互検証	1 行政評価システムの検討	事業の目的体系化(～平成19年11月) 事務事業施行評価(平成19年11月～平成20年3月) 政策・施策評価の検討(～平成19年11月) 利用目的との連携検討(～平成20年3月) 職員研修の実施(平成19年12月)	90%		今年度で事務事業改善計画が終了するため、その後は各課の重点課題として担当課で「事務事業改善シート」を管理していくことから、平成20年度からは「事業評価シート」・「施設調査シート」を再度活用(平成17年度に調査を実施)し、その評価結果を確実に平成21年度予算編成に反映できるようにする。 評価結果を、予算編成等の財政配分を検討するうえでの資料として活用することで、目標とする成果と資金投入とのバランスを意識した行政運営を実施するとともに、財源対策としての「廃止可能な事務事業の抽出」に特化した事業評価から、効率的かつ効果的な町政運営に活用することに主眼を置いた行政評価へと方針転換を図り、民間との協働や民間委託の導入を継続的に検討し、目標とコストの両面から効率的な行政運営をめざし健全な財政運営を行っていくこととする。		総務課	-
		2 事務事業改善計画の定期的な見直し							
		3 評価体制の確立							
	3 外部評価の検討	1 様々な視点による外部評価制度の確立	行政評価制度実施計画書作成(～平成19年11月)	50%	×	平成19年度よりスタートした総合計画の進捗状況と合わせて、評価対象を従来の「事務事業」レベルから「施策」レベルへとステップアップを図り、「町は何をすべきか」という視点に、「町民のくらしとまちがどうなったのか(どうなるのか)」という成果にも重点を置いた視点を加えるものとする。		総務課	-
4 評価の公表	1 評価の公表を実施	行政評価制度実施計画書作成(～平成19年11月)	50%	×					
5 政策への反映	1 評価結果の政策への反映	行政評価制度実施計画書作成(～平成19年11月)	50%	×					

リフォームプランおよびアクションプラン進捗管理シート

P L A N	柱	3	事業評価		
	アクションプラン	1	政策評価の実施に向けて		
	具体策	1	基本方針・実施計画の策定		
	主管課	総務課		関連部局	
実施済事項 (平成17・18年)	行政評価制度の基本設計(「成果志向への行政経営の転換」と題したレポートを作成)(H18年度)				
実施スケジュール	実施年度	実施内容(今後の重点取組目標・効果等)			具体取組(時期等)
	平成19年度	<p>1. 行政評価制度の実施設計書作成 基本設計書(レポート)では、行政評価制度の必要性ははじめ年次計画、導入目的、利用範囲などを示しているが、さらに評価対象や評価方法、評価体制、施策や予算への反映方法、結果の公表などに及んで制度設計を進める。</p> <p>2. 行政評価システム(電子計算機処理)の導入検討 膨大な事務事業の進捗を継続して管理しなければならないため、電子計算組織により情報処理できるシステム導入は不可欠なので、その導入の検討を進める。</p>			行政評価制度実施計画書作成 ~ H19.11 行政評価システムの導入検討 ~ H19.12
確認欄	主管課長	確認日	H19.6.8	【特記事項】(補足説明・用語説明) 評価体系を整理: 事務事業~施策~政策評価のレベルを設けること	
	主管部長	確認日	H19.6.8		
	総務課	確認日	H19.6.8		
D O	実施内容	県主催の「行政評価ミーティング」へ参加し大学教授指導のもとで他市町村の行政評価に対する考え方や進捗管理方法等の意見交換を行った結果、大淀町は行政評価の事業評価レベルにおいては先進的に実施していると判断できた。当初より計画している行政評価システムの導入については、先進的に導入している市町村の調査によりその費用が大淀町の財政規模に対して高額で投資以上の費用対効果が見込めないと判断した。しかし事務事業の進捗を管理していく必要があり、費用をかけないことを勘案しながら導入するために県内の準備中や導入済みの市町村の行政評価シートを調査したが、平成16年度にすでに大淀町にて実施した事務事業評価シートの水準以上ではなく、また政策の評価にまで至っている市町村はわずかであった。			
	効果	行政評価制度は実施に至っていないため、記載事項なし。			
C H E C K	達成度検証欄	内部評価	本部員評価 主管部長評価	コメント	これまでに実施してきた各種の評価関連調査(事業評価・施設評価)の見直しと、総合計画進捗管理シートとの関係性を整理すること。それぞれの 評価体系を整理 【特記事項】することによって、緊迫した財政状況のなかで、各種事業の重要性や必要性にあわせた効果的な評価体制を築けるのではないかと。また、評価を実施する際には、導入目的を明確化することも必要とされる。
				評価日	H20.3.24
	外部評価	委員会評価	コメント	/	
			評価日		
A C T I O N	見直し・改善事項 (今後の課題)	今年度で事務事業改善計画が終了するため、次年度以降は第3次総合計画や財政健全化計画に沿った事務事業の整理を行い、その事業の優先度の基準となる事務事業評価を行っていく必要がある。 総合計画の中で位置づけられてきた事務事業単位ごとに予算編成を前提とした「事業評価シート」を関連づけ、事業評価関連課(総務課・企画課・財務課)の連携を密にしたうえで「財政健全化計画」の見直しを含め、計画・財政の両面から検討ができるようにする。			

リフォームプランおよびアクションプラン進捗管理シート

P L A N	柱	3	事業評価		
	アクションプラン	2	事業評価制度と事務事業改善計画との相互検証		
	具体策	1	行政評価システムの検討		
		2	事務事業改善計画の定期的な見直し		
		3	評価体制の確立		
	主管課	総務課		関連部局	
	実施済事項 (平成17・18年)	事務事業改善進捗管理シートの作成 (H17年度～)			
	実施スケジュール	実施年度	実施内容 (今後の重点取組目標・効果等)		具体取組 (時期等)
		平成19年度	<p>【行政評価システム関係】</p> <p>1. 事業目的体系化 事業を目的別に体系化する。 目的の別は、第3次総合計画に示す方向性に基づく。</p> <p>2. 事務事業試行対象事業の選定・評価実施 前年度に事業目的体系化を行った結果を受けて、各政策・施策レベルから数件の事業を抽出して事務の一部を試行評価する。</p> <p>3. 政策・施策評価の検討 政策・施策評価の基本設計 (評価表試案及び記入要領の作成等) を図る。</p> <p>4. 利用目的との連携検討 行政評価制度の基本設計において利用目的に設定した予算編成・総合計画進捗管理、人事評価制度等との連携を検討する。</p> <p>5. 職員研修の実施 行政評価制度への理解を深めることを目的とする職員研修を実施</p> <p>【事務事業改善計画関係】</p> <p>1. 事務事業改善シートの活用 引き続き、シートを活用してPDCAのマネジメントサイクルにより事務事業改善を推進する。</p>		事業の目的体系化 ～ H19.11 事務事業施行評価 H19.11～H20.3 政策・施策評価の検討 ～ H19.11 利用目的との連携検討 ～ H20.3 職員研修の実施 H19.12
	確認欄	主管課長	確認日	H19.6.8	【特記事項】 (補足説明・用語説明)
主管部長		確認日	H19.6.8		
総務課		確認日	H19.6.8		
D O	実施内容	総合計画に基づく事務事業を体系別にまとめ「総合計画進捗管理シート」としてまとめた。(企画課) 県主催の「行政評価ミーティング」に参加し、大学教授指導のもとで他市町村の行政評価に対する考え方や進捗管理方法等の意見交換を行い、事業評価～施策・政策評価の指標やレベル、また、施策・政策評価への適正な導入時期等の検討を行った。			
	効果	事務事業レベルから施策レベルまでの幅の広い行政評価のなかで、大淀町における評価体制をどのレベルに位置づけることが有効的であるかが明確となった。			
C H E C K	達成度検証欄	内部評価	本部員評価 主管部長評価	コメント	H20.3.24
			評価日		
		外部評価	委員会評価	コメント	H20.3.27
			評価日		
A C T I O N	見直し・改善事項 (今後の課題)	<p>「事務事業改善計画」の進捗管理が平成17年度から3年間で完了し、その後は各課の重点課題として担当課で「事務事業改善シート」を管理していくことから、平成20年度からは「事業評価シート」・「施設調査シート」を再度活用 (平成17年度に調査を実施) し、その評価結果を確実に平成21年度予算編成に反映できるようにする。</p> <p>評価結果を、予算編成等の財政配分を検討するうえでの資料として活用することで、目標とする成果と資金投入とのバランスを意識した行政運営を実施するとともに、財源対策としての「廃止可能な事務事業の抽出」に特化した事業評価から、効率的かつ効果的な町政運営に活用することに主眼を置いた行政評価へと方針転換を図り、民間との協働や民間委託の導入を継続的に検討し、目標とコストの両面から効率的な行政運営をめざし健全な財政運営を行っていくこととする。</p>			

リフォームプランおおよどアクションプラン進捗管理シート

P L A N	柱	3	事業評価			
	アクションプラン	3	外部評価の検討	4	評価の公表	5 政策への反映
	具体策	1	様々な視点による外部評価制度の確立	1	評価の公表を実施	1 評価結果の政策への反映
	主管課	総務課		関連部局		
	実施済事項 (平成17・18年)					
	実施スケジュール	実施年度	実施内容(今後の重点取組目標・効果等)			具体取組(時期等)
		平成19年度	評価体制の設計 評価対象や評価方法、評価体制、施策や予算への反映方法、結果の公表などの制度設計を進める。			行政評価制度実施計画書作成 ~ H19.11
		確認欄	主管課長	確認日	H19.6.8	【特記事項】(補足説明・用語説明)
		主管部長	確認日	H19.6.8		
		総務課	確認日	H19.6.8		
D O	実施内容	行政評価導入にあたり、大淀町の現状に適した指標やレベルを検討していたため、行政評価制度実施計画書の作成には至らなかった。				
	効果	なし				
C H E C K	達成度検証欄	内部評価	本部員評価 主管部長評価	コメント	内部評価では得られないものが、外部からの異なる視点の評価により、評価が得ることができると考えられるため、導入の検討を継続されたい。	
				評価日	H20.3.24	
		外部評価	委員会評価	コメント		
				評価日	H20.3.27	
A C T I O N	見直し・改善事項 (今後の課題)	平成19年度よりスタートした総合計画の進捗状況と合わせて、評価対象を従来の「事務事業」レベルから「施策」レベルへとステップアップを図り、「町は何をすべきか」という視点に、「町民のくらしとまちがどうなったのか(どうなるのか)」という成果にも重点を置いた視点を加えるものとする。				